

北アルプスの成り立ちと



大北地域の地震

講師 太田 勝一（白馬村文化財審議委員）

北アルプスの 3000m級の美しい山並みは、私達に多くの自然の恵みをもたらしてくれています。では、その北アルプスはどのようにして現在の姿になったのでしょうか。また、北アルプスの東側の盆地では地震が多く発生し、白馬村でも12年前に神城断層地震で大きな被害が出ました。

この講座では、北アルプスの成り立ちとそれに引き続く地震活動について、講義と現地学習会で分かりやすく解説します。

◆ 4月24日(金) 13:30~15:30 座学

- ・会 場:保健福祉ふれあいセンター2階 学習室
- ・内 容:北アルプスの成り立ち・大北地域の地震のメカニズム・白馬村の地盤と地震災害
- ・持ち物:筆記用具

◆ 5月9日(土) 13:00~16:30 現地学習

- ・集合場所:白馬村役場駐車場(バスで移動)
 - ・内 容:塩島の神城断層見学・姫川の河原の石ころを観察して、北アルプスの成り立ちをたどります。
 - ・持ち物:筆記用具、雨具、飲物、標本を持ち帰り
たい方はビニール袋とマジック
- ※トイレを済ませて、長靴で参加してください。
雨天中止の場合は、前日に連絡します。

◆ お申込み

電話、FAX、
QRコード、窓口まで

◆ 申込期限

4月15日(水)17時まで

◆ 定員:35名

◆ 受講料:各回 500円



【問合せ】白馬村公民館（保健福祉ふれあいセンター3階）

電話：85-0726 FAX：85-0723

※キリトリ線※

R8公民館講座申込書（北アルプスの成り立ちと大北地域の地震）

氏名		連絡先 (携帯)	
住所			



申込用 QRコード